



笠松中学校誠学年 学年通信 7
令和4年 10月 7日 (金)
学年主任：斎藤 奨吏

確立～日常生活・四本柱・自主心～

前期後半：挑戦と自己評価～さらなる成長を求めて～

前期100日目の学校生活。今日という1日は、決して当たり前の1日ではありません。今日も、元気に登校してくれて有難う。前期最終日に、教室で仲間と担任の先生と共に過ごすことができている自分を褒めてあげてほしいなと思います。

さて、前期後半の最大の行事といえば、体育大会でした。今年度は、保護者の方の参観も可能になり、多くの保護者の方に参加していただきました。義務教育最後の体育大会で頑張る姿を見ていただくことができ、私は、本当に嬉しかったです。体育大会の2日前、生徒会副会長の古田歩果さんのお昼の放送の中で、学年主任の先生の話として、以下のようなことを伝えてもらいました。

誠学年では、義務教育最後の体育大会を最高のものにしようと各学級が個性的に頑張ってくれています。

1組では、学級目標の『全員』を意識して、日常生活から『全員でやり切る』ことを大切に頑張っています。体育大会の取組期間を通して、常に感染症対策をきちんとしてきた結果、学年で1番出席率が高く、安定して質の高い練習を行うことができます。積み重ねてきた日常生活を土台にした頑張り期待しています。

2組は、体育大会の練習がうまくいかなかった時に、自分達で立ち止まって自主的な話し合いができました。その話し合いの後、一人一人の練習や日常に向かう姿勢が変わりました。ダンスの練習では、誰もがニコニコと笑顔で取り組んでいる姿がとても素晴らしいです。2組らしくエネルギー溢れるパフォーマンスをして、見ている人達に笑顔を届けてくれることを期待しています。

3組では、日常生活の中で清掃や授業にひたむきに取り組む姿があります。授業では、学力と共に精神力も鍛えられ、厳しい練習にも挑める真の強さが出てきました。練習の中で、温度差があり、苦しむときもありましたが、その壁を乗り越えて、明日には自分達の最高のパフォーマンスを発揮することを期待しています。

4組では、ダンスの曲が途中で変更になりました。それから、ダンスリーダー達が、時間を生み出してつくってくれました。その思いに応じて、楽しみながら真剣に取り組む姿が印象的です。頑張ってきた成果を発揮して、自分達の納得のいく体育大会にすることを期待しています。

5組では、最高学年として、1年5組、2年5組、6組とのつながりを大切にして、縦割り集団で高まることを大切に練習も日常も本気で取り組んできました。後輩達に憧れをもってもらえるような姿を体育大会当日にも発揮することを期待しています。

最後の体育大会に挑む誠学年のみんなの姿を目に焼き付けたいと思います。

最高の体育大会にしよう！

当日には、各学級が今までに積み重ねてきたものを十分に発揮してくれましたね。私は、みんなが笑顔で踊る姿を見ながら、みんなと今まで過ごした日々を思い出して、胸がいっぱいになっていました。当日の順位はつきましたが、各学級の個性的な輝きには、本当に感動しました。

前期にある大きな行事の広島復興研修、体育大会が終わりました。体育大会期間中に生徒会執行部が発信し続けてくれた「体育大会は日常生活の延長線上にある」という言葉。体育大会で優勝するために、日常生活を見直した人、学級もありました。そうなのです。やはり、私たちが大切にしていくべきものは、日常なのです。

そして、そんな日常を高めるために、笠松中学校には「笠中4本柱」が存在しています。ぜひ、後期には、最高学年として、「笠中4本柱」を核にして、日常の中で個性的に輝ける誠学年のみんなに期待しています。まずは、前期間、お疲れ様でした。充実したキッズウィークを過ごして、後期初日に元気なみんなに会えることを楽しみにしています。



キッズウィーク明け初日は、10月17日(月)になります。

B日課 1 行事 2 学活 3 月5 4 火5 5 火6 最終下校15時

キッズウィークの宿題 笠勉30ページ

持ち物:スリッパ、体育館シューズ(本日持って帰り、洗ってきてください。人によっては、秋の高校見学会で必要な人もいます。)タブレット、充電器、教科の持ち物

※後期の生活の記録は、17日(月)に配付します。

保護者の皆様へ

日頃は、本校の教育活動へのご理解とご協力誠にありがとうございます。本日、第2回実力テストの結果と教育通信を返却しました。キッズウィークは、ご家族で過ごす時間を大切にいただきながら、お子様と進路についてもお話をする時間をとっていただけたらと思います。後期もよろしくお願いいたします。誠学年職員一同